

持続可能な経営基盤の確立に向けた 構造改革



宅配事業の基盤整備

夏季一斉休業期間を設けました

協同購入センターでは2024年度、初めての取り組みとして8月13日～17日の5日間を一斉休業としました。職員の働き方改革の一環として、前後の日・月曜日を合わせ9日間の連休を取得。

組合員の皆さんにはできるだけ迷惑がかからないよう、事前にチラシなどで告知。宅配カタログ『めーむ』7月1回～3回の「夏フェス」企画などで休業前の商品購入をおすすめしました。



宅配職員のコミュニケーションタイム(協同購入センター伊丹)



店舗事業の構造改革

「2024年度営業終了候補店」について 今後の方向性を決定しました

厳しい経営状況が続く3つの店舗(コープ箕面中央、コープ長田、コープ加西)を「営業終了候補店」とし、組合員と共に業績改善に取り組みました。コープ長田は営業を継続、コープ箕面中央とコープ加西は将来の改善が見通せず、やむなく終了が決まりました。

また、2025年度は7つの店舗を「営業終了候補店」に選定し、業績改善に取り組んでいきます。



コープ加西の営業終了の様子(2025年3月)

豊かな食卓をイメージしやすい 売り場づくりをめざして



メニュー提案型売り場のモデル店舗として、9月にコープ神吉、10月にコープ西宮東を改装オープン。フレッシュフルーツを使った店内加工のスイーツを始め、パーティーメニューや洋風総菜に力を入れ、季節を感じられる売り場をめざしています。2店舗での好事例は、他店舗にも展開していきます。



店舗システム刷新で 業務改革とサービス向上へ

店舗事業では、30年以上使い続けてきた店舗システムを2025年に入れ替えを予定しており、準備をすすめました。

システム刷新を機に、働き方や業務スタイルを変え効率化を図るとともに、売り場に居ながらできる業務を増やし、組合員サービスの向上につなげていきます。



売り場でも操作できる業務ツールに変更予定

デジタルツールの活用を すすめています

より便利になったコープこうべアプリの利用を推進しています。また、アプリでデジタル版地域担当ニュースを配信し、訪問する組合員とのコミュニケーションを始めています。



「あんしん宅配」に 取り組んでいます

トラックの走行や駐車に関して、地域の皆さんから信頼され、誰もが安心感を得られるような運転を心掛けています。職員一人ひとりへの安全意識の浸透を図るための研修を行い、組織一丸となって取り組んでいます。





食品工場の思いを引き継いで

コープこうべ直営の六甲アイランド食品工場は、2025年3月22日をもって約37年の歴史に幕を下ろしました。長きにわたり、食品工場製造のオリジナル商品をご利用、ご愛顧いただきありがとうございました。



これまで工場で培ってきた「安全・安心」「おいしさ」へのこだわりや、組合員の声・思いを生かした商品づくりは今後、日本生活協同組合連合会との共同開発でしっかりと継承していきます。



42品目が日本生協連コープ商品に

9月には「神戸ハイカラメロンパン」の製造をメーカーに委託し、発売から72年の思いをつないでいます。10月には「しっとり絹あつあげ」、2025年3月には「なめらか絹豆腐」「うすあげ」「熟成ロイヤル」など、これまでに合計42品目が、日本生協連コープ商品としてデビュー。食品工場生産品のこだわりを継承しています。



メロンパンの焼き型譲渡式(8月)



新たな学び合い・教え合い活動に向けて

コープカルチャー事業は2025年3月末をもって終了しました。長きにわたりご利用いただき、ありがとうございました。



事業としては終了しますが、自主運営による学び合い・教え合い活動が続けるとともに、コミュニティを維持し、再出発します。

カルチャー事業所の跡地を活用して

カルチャー事業所の跡地を活用し、新たな学びや活動交流の拠点「ふれあいひろば(コレル)」やつどい場を開設しています。「ふれあいひろば(コレル)」は現在7カ所に広がり、これまでのコープカルチャー講座の一部は、自主運営で活動を継続しています。

